



商工会議所LOBO(早期景気観測)

—2015年4月調査結果(概要版・付帯調査)—

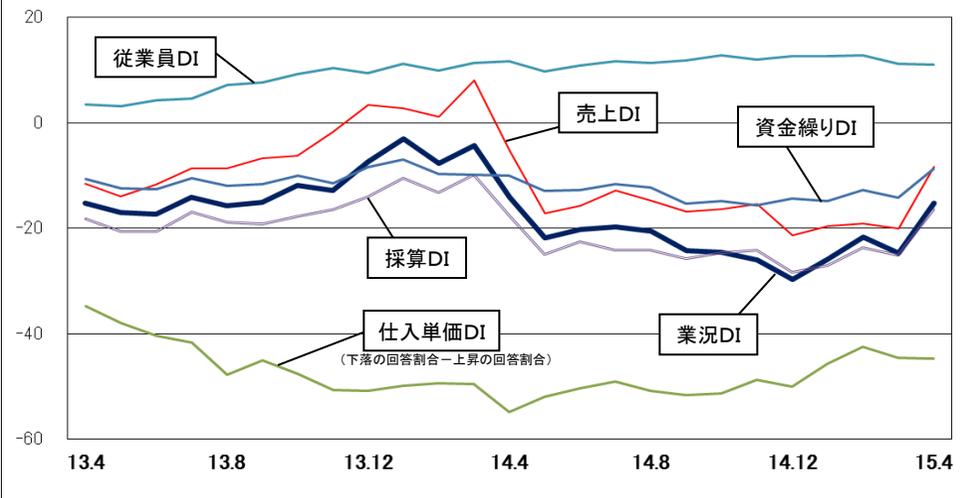
2015年4月30日

業況DIは、前年の反動から大幅改善。先行きは鈍さ残るも持ち直しを見込む

ポイント

- ▶ 4月の全産業合計の業況DIは、▲15.3と、前月から+9.4ポイントの大幅改善。ただし、比較対象の前年同月、駆け込み需要の反動減により業況が落ち込んだ時期であることに留意が必要。取引価格への転嫁遅れや、人手不足、人件費・電力料金の上昇などが足かせとなり、回復のペースにばらつきが残るものの、輸出増などに伴う生産の伸びや好調なインバウンドが下支えするほか、株高や今春の賃上げを背景に消費者マインドが上向きつつあるなど、中小企業の景況感は、総じて持ち直しに向けた動きが続く。
- ▶ 先行きについては、先行き見通しDIが▲13.6(今月比+1.7ポイント)と改善を見込むものの、「悪化」から「不変」への変化が主因。中小企業においては、依然として、コスト増加分の価格転嫁や電力料金の値上げ、人手不足などが懸念材料となる状況が続く。他方で、株高・賃上げに伴う個人消費の回復や輸出をけん引役とする生産増などへの期待感から、先行きは緩やかに回復するとの見方が伺える。

LOBO全産業合計の各DIの推移(2013年4月以降)



2015年度の採用動向

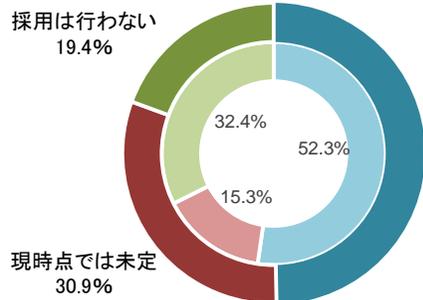
- ▶ 2015年度に採用を行う企業(全産業)は49.7%と、2014年4月調査と比べ、ほぼ同水準。他方、「現時点では未定」とする企業は30.9%と、15.6%増加し、「採用は行わない」企業は19.4%と、13.0%の減少
- ▶ 採用を行う企業のうち、「正社員を採用」する企業は84.8%。「非正規社員を採用」する企業は、37.4%
- ▶ 正社員の採用数は、2014年度と比較して「増やす」企業が43.0%、「昨年度並み」が51.6%、「減らす」が5.4%

◆2015年度の採用について

※円グラフの外側が今回調査、内側が前回(2014年4月)調査

[中小企業の声]

- ▶ 大手企業が採用活動を強化しているため、昨年度に比べて自社への応募が減少。今年度に計画した採用人数を確保することが困難になっている (札幌 電気工事業)
- ▶ 退職者が出たが、先行きが見通せず、新規採用に踏み切れない。当面は仕事の効率化を図って対応する予定 (東京 不動産管理業)
- ▶ 昨年度は新卒の正社員や非正規社員を計画通り確保できた。今年度も採用を行うが、特に即戦力が期待される中途採用に注力したい (静岡 自動車部品製造業)
- ▶ 技術職を採用したいが、賃金などの待遇面が課題となっている。専門学校に求人票を出すなど、採用活動を続ける予定 (今治 衣料品製造業)
- ▶ パート・アルバイトの採用募集をしているが、駅ビルの新規開業の影響から、人員確保が進んでいない (別府 百貨店)

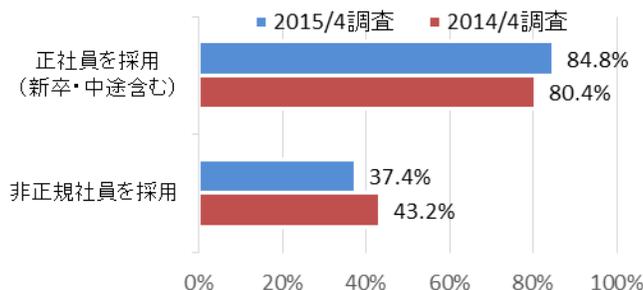


採用を行う
49.7%

【参考】
2014年度の採用実績
・採用した ……60.5%
・採用しなかった ……39.5%

<採用の内訳>

※採用を行う企業が回答【複数回答】



<正社員、非正規社員の採用動向>

